

# 叱り体験が教師のアイデンティティ形成に与える影響に関する研究

1130511 山田 莉那

高知工科大学マネジメント学部

## 1. 概要

現在、教師のアイデンティティの形成プロセスを明らかにすることは、若手教師の育成を検討するうえで非常に重要であると言われており、これに関する学術研究は増加してきている。既往研究においてアイデンティティ形成要因は、親、重要な他者、幼少期の体験、先輩教師を見て習う経験、などが挙げられている<sup>[1][2]</sup>が、自身のアイデンティティが強く表れると予想される叱りに関する研究はない。そこで本研究では、現役教師・教師OBへのインタビュー調査から、叱り体験が教師のアイデンティティ形成に与える影響を明らかにする。

## 2. 背景

教師のアイデンティティの発展・発達プロセスを明らかにすることは、若手教師の育成を検討するうえで非常に重要であると言われている。このような意識のもと、過去15年間で教師のアイデンティティ形成プロセスを扱った学術研究が増加しつつある。例えば、『Handbook of Research on Teacher Education』という教師に関する学術研究を網羅的にレビューし、学会の流れを表しているハンドブックには新たに、「教師のアイデンティティ形成に関するチャプター」が追加された。

既往研究では、教師のアイデンティティ形成要因には、家族、重要な他者、幼少期の体験、先輩教師を見て習う経験、などが挙げられている。<sup>[1][2]</sup>しかし、教師のアイデンティティ形成要因として叱りを挙げている学術研究は見当たらない。叱りとは、自身のアイデンティティが強く表れる場面であると予想されるため、アイデンティティ形成のプロセスを検討するには、叱りにについても検討する必要があると考えられる。

## 3. 目的

本研究は叱りがアイデンティティ形成に与える影響を明らかにすることを目的とする。

## 4. 研究方法

本研究は、初めに、教師のアイデンティティ形成に関する既往研究から、教師のアイデンティティ形成プロセスを明ら

かにするうえで重要な理論を整理した。その結果、教師とは他者との関わりの中で、教師としてのAsset（資産）を形成・深化していること、また、時にはAsset（資産）が行ったり来たりを繰り返しながら形成・深化されていることが分かった。教師は形成されたAsset（資産）によって自身と他者との違いを認識しており、この認識のことをアイデンティティと定義した。Asset（資産）形成・深化のプロセスを表したものが図4-1である。

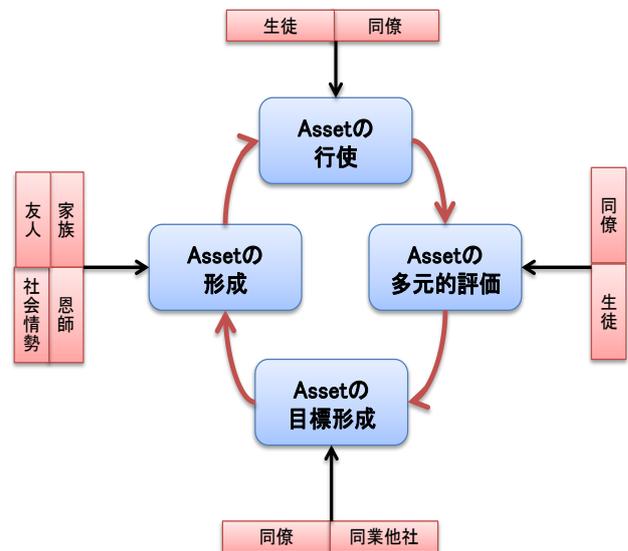


図4-1 Asset形成・深化の図

次に、現役教師と教師にライフヒストリー法を用いてインタビュー調査を実施した。ライフヒストリー法とは個人が過去の生活や一生について話した記録をもとに、何かを明らかにする手法である。教師のアイデンティティは教師になった後、長期的に形成されること、叱り体験には叱られた体験が影響を与えていると考えられるため幼少期・学生期の体験を調査する必要があることから、本研究にはライフヒストリー法が有効であると言える。

最後に、調査結果から教師のAsset（資産）の形成・深化のプロセスを図形により整理し、叱りが教師のアイデンティティ形成に与える影響について検討した。

## 5. 結果

幼少期～現在までの出来事、特に叱りに焦点を当て、現役教師（4名）、教師OB（3名）にインタビュー調査を実施した。調査を重ねていくなかで、叱った経験がなかった教師については調査を終了し、叱った経験が豊富にあった教師についてはインタビュー調査を数回にわたって実施した。

### 5.1. Asset（資産）の分類と人的資産の発見

教師のアイデンティティ形成プロセスを検討するうえで重要な Asset（資産）を、インタビュー調査で収集した事例から、信念、学級マネジメント能力、教授能力、専門能力、組織マネジメント能力、人的資産の6つに分類した。人的資産に関しては既往研究では取り上げられておらず、本研究で発見した新しいカテゴリーである。

上側に形成された Asset（資産）、下側に収集した事例の対象人物を取り、どの事例が Asset 形成に影響を与えているかを図化した。（図 5-1）

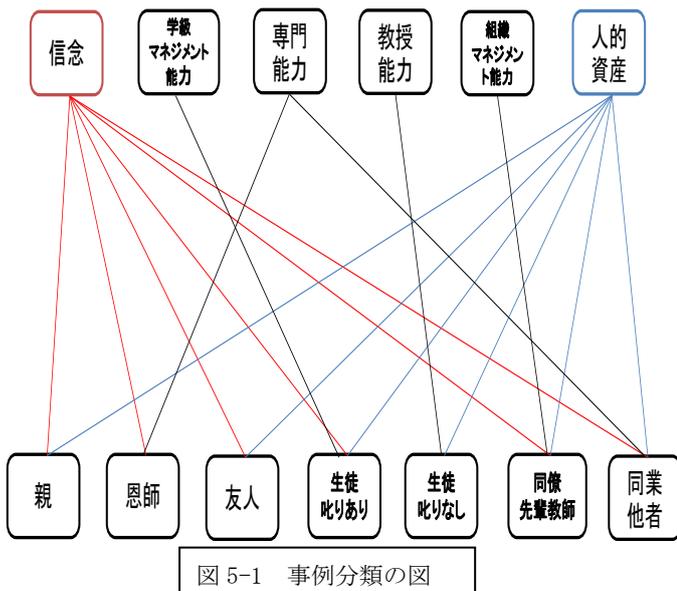


図 5-1 事例分類の図

### 5.2. 叱りが Asset に与える影響

図の 5-1 で表した Asset のうち、特に叱りに影響を与えていると考えられる信念について分析した。教師の叱り体験が信念の形成プロセスに与える影響を図で表し、叱りにだけ見られる特徴を発見した。（図 5-2）

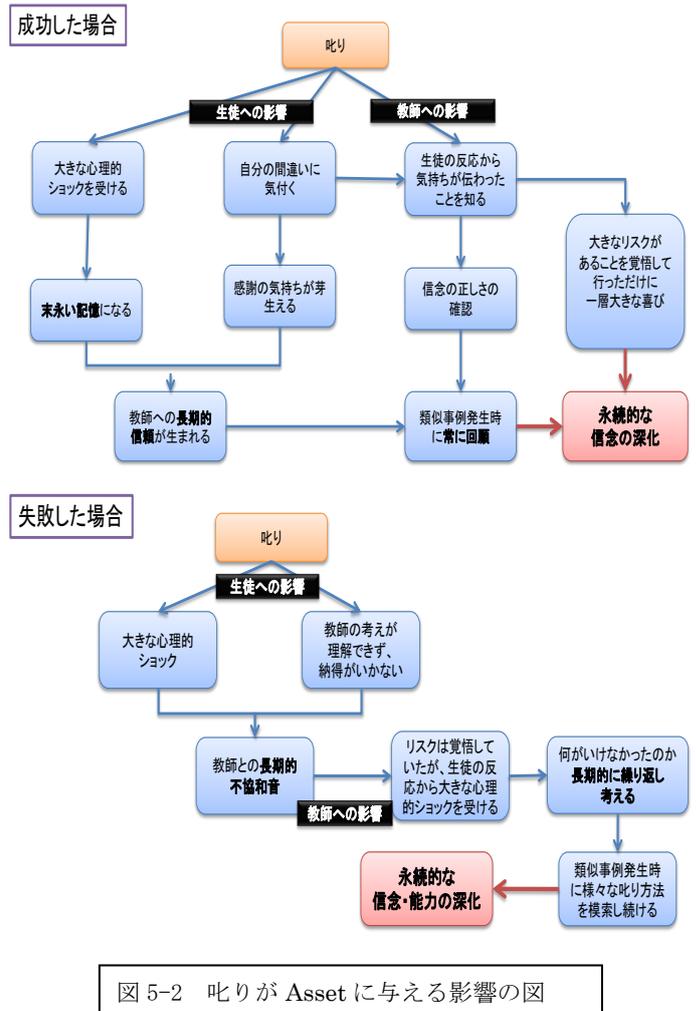


図 5-2 叱りが Asset に与える影響の図

また、叱りが成功した場合と失敗した場合は、プロセスや、教師が受ける衝撃が違うことも分かった。

### 5.3. 叱り以外の事例との違い

叱り以外の事例も信念を形成しているが、叱りが信念を形成するときに見られた特徴はなく、この特徴は叱りにのみ存在することが確かめられた。

## 引用文献

- [1] Sugrue, C. (1997). Student teachers' lay theories and teaching identities: Their implications for professional development. *European Journal of Teacher Education*, 20(3), 213—225.
- [2] Knowles, G.J. (1992). Models for understanding pre-service and beginning teachers' biographies: Illustrations from case studies. In I. F. Goodson (Ed.), *Studying teachers' lives* (pp.99—152). London: Routledge.